	り名称						卜再生整備	計画													
計画の			平成29年	度 ~	平成30年	度 (2	2 年間)			交付法	対象		横浜市								
計画の					区画整理事 アフリー			イドラインの京倉	急金沢八景	景駅への延	伸事業に	こあわせつ	て、駅を中心とし	した歩行者ネットワ っ	ークの改詞	善を進め、	駅周辺に	におけるタ	よ行者ネッ →	ノ トワークの	の安全
計画の成果目標(定量的指標)																					
①駅周辺における歩行者ネットワークの安全性・快適性の向上及びバリアフリー化の推進 ②駅周辺の施設整備による市民満足度の向上 ③駅周辺の施設整備による車いす・歩行者等の移動時間の短縮																					
定量	定量的指標の定義及び算定式													備孝							
											当初現況値 (H27)	中間	目標値	最終			Vm 7				
① 駅周辺道路のバリアフリー化 (現況値及び目標値) = (測定時の点数) / (条例等に基づく理想点数)										57. 7				4. 1							
② 施設整備による市民満足度 (目標値) = (事業完了年において最寄駅周辺の整備状況に満足した市民の割合) / (平成27年における最寄駅周辺の整備状況に満足した市民の割合) 1.0																					
③ 移動時間の短縮(京急金沢八景駅―横浜市立大学間の移動時間) (目標値)=(整備後の移動時間)/(整備前の移動時間)																					
<u></u>	스타						С	0		事業費の割合 +B+C) 0.0%											
										事	後評	価									
	価の実施		施時期										e a etablaci ile								
事後評価	事後評価の実施体制 事後評価の実施時期 事後評価:令和元年度																				
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施した。																					
	1MΩZ(1) V · · · · · · · · · · · · · · · · · ·																				
1	1. 交付対象事業の進捗状況																				
交付対象		少是沙小	.1/4																		
A 基幹	-																				
番号	事業	地域	交付	直接	事業者		要素となる事業名						事業内容	市町村名			施期間	(年度)		全体事業費	備考
	種別	種別	対象	間接		A >= :: E	I ma ma sa sa					(延	長・面積等)		H29	H30	R01			(百万円)	
A-1	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市	金沢八青	大駅周辺地	2区(第3期)都市再生整備計画				_		横浜市						1, 684	
					 																
														•			合計	•		1, 684	
B 関連	社会資本											1									
番号	事業	地域	交付 対象	直接	事業者		ì略 ī種	要素	₹となる事	業名		(7:1	事業内容 長・面積等)	市町村名 港湾・地区名		事業実	施期間	(年度)		全体事業費 (百万円)	備考
	種別	種別	刈家	間接			_1里		•			(処	: 区・凹傾寺/		1					(11/11)	
																	A =1				
C 効果促進事業 合計 一																					
,,,,,,,	事業	地域	交付	直接		省	ì略		-1 2 -: ··	- M/c &-				市町村名		事業生	施期間	(年度)	I	全体事業費	備考
番号	種別	種別	対象	間接	事業者		種	要素	要素となる事業名				事業内容	港湾・地区名						(百万円)	VIII - 3
																	合計				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- ・本計画による駅東西自由通路及び西側道路整備のほかに、同時期に実施した金沢八景駅東口地区土地区画整理事業や金沢シーサイドライン延伸事業の完成により、金沢八景駅周辺地区の歩行者ネットワークの安全確保や利便性の向上が図れたほか、バリアフリー環境を整えることができた
- ・金沢八景駅周辺で実施された各事業により、駅利用者や来街者等の満足度が向上した
- ・駅周辺のバリアフリー環境が整った結果、駅改札又は東側地区から西側地区(横浜市立大学等)への移動時間が短縮した。

Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①(駅周辺 道路のバリアフ	最終目標値	94. 1	目標値と実績値
	リー化)	最終実績値	94. 1	に差が出た要因
	指標②(施設整 備による市民満	最終目標値	1.2	目標値と実績値 金沢八景駅周辺については、長年にわたり、シーサイドラインと京急線の乗換に不便をきたしていたこと や、公共施設等の不足など様々な課題があったなかで、当該整備に対する駅利用者等の期待が想定以上に高
	足度)	最終実績値	1.6	に差が出た要因 く、それが高評価につながったものと考えられる。
	指標③(移動時 間の短縮)	最終目標値	0.7	目標値と実績値
		最終実績値	0.7	に差が出た要因
		最終目標値		目標値と実績値
		最終実績値		に差が出た要因

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 <u>(必要に応じ</u>て記述)

駅勢圏居住者や来街者に対するアンケート調査を行った結果、75%以上の方から、高評価を得ることができた。 特に、駅東西間の移動や乗換の利便性向上、安全に歩行できるようになったこと等について、多くの方から評価を頂いた。 また、駅東西自由通路に設けた地図情報等の案内板について評価を頂く意見も見られた。

3. 学識経験者の意見

駅周辺の施設整備により歩行者ネットワークの快適性が向上し、バリアフリー環境も整い、駅利用者から高評価を得られる意義のある事業となった。

計画の指標については、市民にわかりやすいように設定時から検討する必要がある。

施設完成後に、利用者動線の円滑性、駅前広場回り空間の効果的な活用が実現できるよう、今後の調整が望まれる。

駅前広場内および国道16号のバス乗降場所の配置については、利用者の動きを継続的に確認していくことが望ましい。

4. 特記事項(今後の方針等)

今後は、地元町内会や商店会等で組織する「金沢八景まちづくり委員会」が主体となって、「建築物等のデザインガイドライン」の運用による調和の取れた良好なまちなみ形成や、高架下広場などを使ったイベント実施等 による賑わい創出を進める。